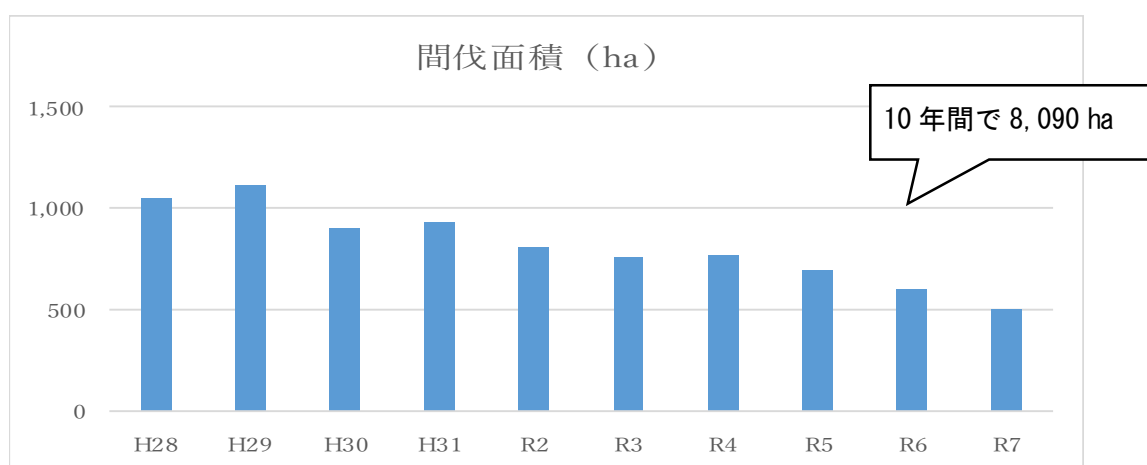


森林整備の状況

間伐及び間伐材の利用

平成 28 年度から令和 7 年度までの 10 年間の間伐実績は 8,090ha と、対象となる森林の約 70%となっている。令和 3 年度からは、災害に強い森林づくりを速やかに進めるために、手入れ不足の人工林の間伐を市が直接行う「重点区域森林整備事業」に取り組んでいる。

なお、間伐材が利用されず森林内に放置されることが多く、資源の有効利用の観点から間伐材の利用拡大が課題となっている。市補助事業（緑の保全事業）を活用した間伐材搬出量は令和 7 年度 23,655 m³となっている。



重点区域森林整備事業実施後



間伐材の搬出状況

